

2008年5月17日(土)

FC Machida Zelvia

FC町田ゼルビア
PRESS

vol. 6

Machida Dream まちだドリーム



柳崎 30メートル弾 2発

ゼルビア 首位での折り返し決める



首位決戦

ゼルビア快勝

5月11日(日)、埼玉県寄居のホンダグラウンドにおいて関東社会人リーグ第6節FC町田ゼルビア対ホンダルミノソ狭山との試合が行われゼルビアが5-1で快勝。

首位を走るゼルビアと2位で追うホンダルミノソ狭山との頂上決戦はゼルビアが大差で勝ち前期の首位通過を決めた。



第7戦 あす5月18日13:00
キックオフ VS 日立栃木
於: 町田市陸上競技場

昨年2位の日立栃木といよいよ前期最終戦。全勝折り返しをかけた決戦だ。野津田でのリーグ戦ももう残り3試合。今年のゼルビアを見逃すな！ 応援、お待ちしております。

柳崎ワンマンショー!

ホンダのホームグラウンドに加え前日からずっと降り続けている雨でグラウンドは最悪状態。ゼルビアの苦闘が予想されたが、ゼルビア選手の落ち着いたプレーでキックオフからゼルビアペース。前半9分にはフリーになった石堂(ゼルビアサッカースクールコーチ)からゴール前の山腰(協栄スイミング町田勤務)にロングパス。走りこんだ山腰がスライディングしながらのボレーで先制点。35分には柳崎(朝日新聞勤務)が放ったミドルシュートがディフェンダーに跳ね返ってきたところでもう一発。キーパーも触れないスーパーゴール。直後の38分には相手のパスをカットするとまた柳崎が同じような位置から40m近いミドルシュート。今度はディフェンダーに当たってループシュートとなってキーパーの頭の上。3分間に2発続けてのミドルシュートにアシストも自分というワンマンショー。相手にシュートを一本も打たせないまま首位決戦を前半で決めた。

共演! 競演!? 2トップ

山腰&勝又!

後半も完全にゼルビアペース。10分には石堂がフリーキックを勝又(ひまわり工業勤務)にあわせ4点目。40分には山腰がこの日2点目となるゴールを決めて5点。大学新卒の22才2トップコンビがまたチームを引っ張って6連勝を飾った。

GMeye
ジー・エム・アイ

FC町田ゼルビア
ゼネラルマネージャー(GM)川添孝一
この試合のポイントは試合前の戸塚監督の一言。まず今シーズン初の長距離移動してきた選手にロッカーで「顔がピクニック気分だ。目を三角にして戦う顔になれ」とカミナリ。その後、雨で最悪のグラウンド状態を前にして「パスが繋がらなくても心配するな」と選手に。「やろうとしているサッカーができなくてもいいんだよ。シンプルに守備重視で行こう」と元日本代表の戸塚哲也が言うことで選手が楽に。結果は攻撃で圧倒。戸塚マジックですね。



不動の左サイドバック
津田 和樹 2

津田
神話

「ここまで『存在感』を数字で現してしまっただいフェンダーはまじない。数字で語る事が難しい。ディフェンスの世界で『津田神話』ができてしまった。今季の第2戦から第5戦。失点状況が津田の出場と合致してしまっただ。津田がフル出場した初戦は零封。第2戦は零封のまま迎えた後半8分、足を痛めた津田が退場。とたんにバランスを崩してしまっ

て2失点。そのまま欠場となった第3戦も2失点。やっと戻ってきた第4戦は津田がフル出場して零封。そのままいけると思った第5戦。零封していた後半に負傷して退場すると左サイドを破られて失点。つまり津田がいなくてもだけ点を取られてしまっ事実。ここまで不可欠な存在がゼルビアの不動の左サイドバックの津田和樹だ。

「ここまで『存在感』を数字で現してしまっただいフェンダーはまじない。数字で語る事が難しい。ディフェンスの世界で『津田神話』ができてしまった。今季の第2戦から第5戦。失点状況が津田の出場と合致してしまっただ。津田がフル出場した初戦は零封。第2戦は零封のまま迎えた後半8分、足を痛めた津田が退場。とたんにバランスを崩してしまっ

て2失点。そのまま欠場となった第3戦も2失点。やっと戻ってきた第4戦は津田がフル出場して零封。そのままいけると思った第5戦。零封していた後半に負傷して退場すると左サイドを破られて失点。つまり津田がいなくてもだけ点を取られてしまっ事実。ここまで不可欠な存在がゼルビアの不動の左サイドバックの津田和樹だ。

元Jリーグ「町田っ子」
現・学芸大学生

ゼルビアカメラクラブ
参加者大募集

ゼルビアユース
高校1年生大募集

「ゼルビアカメラクラブ」がはじまりました。入会いただきました。①ゼルビアのホームゲームのピッチサイドでの撮影。②ゼルビアの練習の撮影。③ホームページへの掲載。④ゼルビア写真展での作品展示。⑤オンラインバスマージング(株)からカメラ・レンズの貸与。——の権利が得られます。

FC町田ゼルビアユース(高校生チーム)では高校1年生のプレイヤーを大募集しています。伝統あるFC町田ユース。数々のプロ選手を生み出したチームとして、そして東京で3番目のJリーグチームをめざすゼルビアのユースチームとして、強く、そして人間の成長をはかられるチームと選手づくりをめざして毎日練習を重ねています。



看板の後ろからローアングルで選手を狙うカメラクラブのメンバー。

「ナイターの試合で戦うユースの仲間」

町田から飲酒運転をなくそう！
町田からJリーグチームをつくろう！

連休中の5月4日、ゼルビアが今年から取り組んでいる「飲酒運転撲滅キャンペーン」に町田警察署と町田市酒販協同組合も協力。サッカーチームと警察署と酒販組合という異色の3者のコラボレーションによる「飲酒運転撲滅キャンペーン」が行われた。

ゼルビアは「町田の誇りとなる」ことを結成以来の方針として掲げ、チーム強化のみならず、小学校への授業時間内での無償でのサッカー巡回指導をはじめ、町田市内外のサッカーチームへのサッカー指導(無償)など「社会貢献活動」に非常に力を注いできたが、今年からは町田警察署とも協力し、飲酒運転撲滅にも取り組んでいる。今回は開幕戦前日の4月5日に町田駅前で行ったキャンペーンに続いて第三弾の行動。

酒販組合の配る「ハンドルキーパー運動」(運転する人は「ハンドルキーパー」として首からタグをぶら下げるなど、「運転する人」=「飲酒しない人」を決めておく運動)のピラをゼルビアの選手も一緒に配布。町田警察署からは交通課長、酒販組合からは理事長、そしてゼルビアは川添ゼネラルマネージャーを筆頭に選手も一緒になってピラを配り、マイクを使って「町田から飲酒運転をなくそう！ 町田からJリーグチームをつくろう！」と呼びかけた。



夢おこし まちおこし 町田チャレンジ

イレブン
ゼルビア2011年宣言

2011年、私たちはJリーグ昇格を実現します。
まちに元気、子どもに夢と希望を運びます。



FC Machida Zelvia